

宮古諸島の直翅類の分布記録

小浜継雄 (沖縄県宜野湾市)・砂川博秋 (沖縄県宮古島市)

はじめに

宮古諸島は、沖縄県内で石垣島に次いで 4 番目に面積の大きな宮古島 (面積約 160km²) をはじめとし、池間島、大神島、来間島、伊良部島、下地島、多良間島および水納島の 8 有人島およびフデ岩などいくつかの小さな面積の無人島で構成される。ほとんどの島が琉球石灰岩からなる、平坦な地形で、森林が乏しく、河川が発達していない。

宮古諸島の直翅類 (以下、バッタ類と呼ぶ) についての記録は、東 (1975a)、岡 (1982)、安谷屋ら (1982)、直翅類研究グループ (1983)、石川 (1983)、大城 (1986a; 1988)、小浜 (1993; 1995; 2020)、小浜ら (1994)、杉本 (1996)、仲盛・佐渡山 (2001)、楠井 (2005; 2010)、沖縄県文化環境部自然保護課 (2009)、小浜・佐々木 (2013)、山下ら (2019)、小浜・砂川 (2020b) などがあり、これまでに 12 科 71 種のバッタ類が記録されている (奥山, 2018; 日本直翅類学会, 2021)。島ごとにみると、宮古島から 12 科 61 種、多良間島 11 科 48 種、伊良部島 10 科 21 種、池間島 7 科 12 種、水納島 6 科 11 種、大神島 4 科 5 種、来間島 2 科 4 種、下地島 2 科 2 種が記録されており、宮古島と多良間島は比較的良好に調べられているようであるが、これら 2 島を除けば、他の島々の記録は少なく、調査はまだ不十分のようであった。

筆者らは、2012 年から 2017 年にかけて、宮古諸島においてバッタ相の調査を行い、宮古諸島新記録の 1 種を含む、11 科 46 種のバッタ類を確認しているため報告する。今回の調査で確認できなかった 25 種を含め、宮古諸島

のバッタ相として 12 科 72 種についてまとめたので併せて報告する。本調査は、宮古島市史「みやこの自然」(宮古島市史編さん委員会, 2019) の編纂に向けて実施したものである。なお、今回の調査結果の一部については先に報告している (小浜・砂川, 2019b; 2020b; 小浜, 2020)。

発表に先立ち、宮古諸島の昆虫相調査に種々便宜を図っていただいた宮古島市史編さん室の方々に厚くお礼を申し上げます。また標本を提供いただいた比嘉祐成氏にもお礼申し上げます。

材料および方法

調査は 2012 年から 2017 年にかけて、宮古諸島の有人島 8 島、無人島のフデ岩で行った。基本的に目視で採集・観察し、夜間は電灯を用いて調査した。その他に、ビーティングやスウィーピング、灯火採集を行い、バッタ類を採集した。鳴く虫については鳴き声で生息を確認したものもある。今回の調査とは別に、筆者らの砂川が 2008 年・2009 年に、また小浜が 2011 年に、それぞれ宮古諸島で採集したバッタ類も今回の調査成果に加えた。なお、フデ岩の昆虫については既に報告している (小浜・砂川, 2020b)。

採集した個体は乾燥標本にして同定した。種の同定には、日本直翅類学会 (2006; 2016) を参考にし、他に佐々木ら (2009)、奥山 (2018) なども参考にした。宮古諸島内における島ごとの分布資料として日本直翅類学会 (2006; 2021) の分布表および小浜・砂川 (2020a) のバッタ類リストにある分布情報を主に参考にした。

今回の調査で得られた標本は、琉球大学博物館 (風樹館) と宮古島市総合博物館に収蔵され

る予定である。

調査結果

今回の調査で確認された11科46種のバッタ類のデータを示した。採集標本データは、島ごとに個体数、採集日、採集地（宮古島、伊良部島、多良間島について示した）、採集者の順序で示した。撮影データ、目撃データおよび鳴き声確認データも採集標本データと同様に示した。採集・目撃者名は、小浜継雄を(K)、砂川博秋を(S)と略記した。また、今回の調査で確認できなかった25種についても下記のリストに示した。科の配列と種名は、基本的に日本昆虫目録編集委員会(2020)に準じ、学名が確定していないものについては日本直翅類学会(2016)を参照した。

I コオロギ科 Gryllidae

1. ヒメコガタコオロギ *Modicogryllus consobrinus* (Saussure, 1877)

[採集標本データ]

宮古島: 4♀, 28. VII. 2014, 野原岳 (K); 2♂, 16. III. 2015, 大野山林 (K); 2♀, 14. V. 2015, 大野山林 (K); 幼虫 1ex, 22. V. 2016, 学びの森 (K); 1♂, 13. VII. 2016, いこいの森 (K); 1♂2♀, 8. X. 2016, 野原岳 (K)

来間島: 1♂1♀, 29. VIII. 2014 (K)

伊良部島: 2♀, 6. VII. 2013, 牧山 (K); 1♂, 27. VII. 2014, 牧山 (K)

多良間島: 1♀, 16. III. 2013, 多良間空港 (K)

来間島、伊良部島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982; 大城、1986b; 1988; 1995; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009; 小浜・砂川、2020a)

備考: 岡 (1982) は *Velarifictorus parvus* Chopard として記録している。

2. タンボコオロギ *Modicogryllus siamensis* Chopard, 1961

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2006; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (大城、1986ab; 1995; 杉本、1996; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)

3. ネットイオカメコオロギ *Loxoblemmus equestris* Saussure, 1877

[採集標本データ]

宮古島: 1♂1♀, 10. XI. 2012, 大野山林 (K); 3♂3♀, 17. V. 2013, 大野山林 (K); 1♂, 18. V. 2013, 野原岳 (K); 1♀, 5. VII. 2013, 大野山林 (K); 1♀, 28. VII. 2014, 野原岳 (K); 1♂1♀, 24. IX. 2014, 大野山林 (K); 2♂6♀, 26. IX. 2014, 大野山林 (K); 1♂, 12. V. 2015, ウィピア (K); 1♂, 14. V. 2015, 大野山林 (K); 1♀, 20. V. 2016, 野原越 (K); 1♂1♀, 13. VII. 2016, いこいの森 (K) 1♂3♀, 8. X. 2016, 野原岳 (K)

池間島: 1♂4♀, 30. VIII. 2014 (K)

伊良部島: 1♀, 6. VII. 2013, 牧山 (K); 1♂, 4. IX. 2015, 佐良浜 (K)

多良間島: 2♀, 16. XI. 2011, 塩川 (K); 2♂1♀, 17. VII. 2015, 仲筋 (K)

池間島と伊良部島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (東、1975a; 岡、1982; 大城、1986b; 1988; 1995; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009; 小浜・砂川、2020a)

備考: 別名、リュウキュウオカメコオロギ。岡 (1982) は、ハラオカメコオロギ *Loxoblemmus* sp. とネットイモリオカメコオ

ロギ *Loxoblemmus equestris* Saussure の2種を宮古島から記録しているが、これらはネットアイオカメコオロギのことであろう。

4. ナツノツツレサセコオロギ *Velarifictorus grylloides* (Chopard, 1969)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 1995 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

備考 : 岡 (1982) のリュウキュウツツレサセ *Velarifictorus* sp. 1 は本種のことと思われる。リュウキュウツツレサセコオロギ *V. ryukyuensis* Ôshiro, 1990 は本種のシノニムとされる (日本直翅類学会、2006)。

5. コガタコオロギ *Velarifictorus ornatus* (Shiraki, 1913)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 1995 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

備考 : 岡 (1982) は *Velaricictorus* sp. 4 として記録している。

6. カマドコオロギ *Gryllodes sigillatus* (Walker, 1869)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 1995 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

7. フタホシコオロギ *Gryllus bimaculatus* de Geer, 1773

[採集標本データ]

宮古島 : 1♀, 17. IV. 2013, 野原越 (S) ; 1♀, 28. VII. 2014, 野原岳 (K)

伊良部島 : 1♀, 27. VII. 2014, 牧山 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (東、1975a ; 岡、1982 ; 石川、1983 ; 大城、1986ab ; 1988 ;

1995 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (久貝ら、1990 ; 大城、1995 ; 小濱ら、2002 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (大城、1986ab ; 1995 ; 杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)

備考 : 別名、クロコオロギ。

8. タイワンエンマコオロギ *Teleogryllus occipitalis* (Audinet-Serville, 1839)

[採集標本データ]

宮古島 : 1♂, 18. V. 2013, 野原越 (K) ; 1♀, 24. IX. 2014, 大野山林 (K)

多良間島 : 1♀, 16. VII. 2014, 仲筋 (S)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986ab ; 1988 ; 1995 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、大神島 (安谷屋ら、1982)、伊良部島 (久貝ら、1990 ; 大城、1995 ; 小濱ら、2002 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (大城、1986ab ; 1995 ; 杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)

9. マメクロコオロギ *Melanogryllus bilineatus* Yang & Yang, 1994

[採集標本データ]

宮古島 : 1♀, 8. III. 2013, 野原岳 (K) ; 1♀, 21. IV. 2015, 長間 (K) ; 2♂5♀, 22. IV. 2015, 新城 (K) ; 1♀, 13. VII. 2016, いこいの森 (K)

多良間島 : 1♂, 16. III. 2013, 多良間空港 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986ab ; 1988 ; 1995 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (大城、1986ab ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

備考 : 別名、チビクロコオロギ。

10. マダラコオロギ *Cardiodactylus*

guttulus (Matsumura, 1913)

[撮影データ]

宮古島: 幼虫多数, 5. VII. 2013, 大野山林 (K)

[目撃データ]

宮古島: 成虫数頭, 31. VIII. 2014, 学びの森 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (東, 1975a; 岡, 1982; 大城, 1986b; 1995; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2021; 小浜・砂川, 2020a)

11. マツムシ台湾亜種 *Xenogryllus marmoratus unipartitus* (Karny, 1915)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)、伊良部島 (久貝ら, 1990; 小浜, 1993; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)

備考: 別名、オキナワマツムシ、台湾マツムシ。

12. インドカンタン *Oecanthus indicus* Saussure, 1878

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡, 1982; 大城, 1986b; 1995; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)、多良間島 (杉本, 1996; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)

備考: 別名、台湾カンタン、ヒロバネカンタン。岡 (1982) は和名をヤエヤマチャイロカンタンとしている。

13. カヤヒバリ *Natula pallidula* (Matsumura, 1910)

[採集標本データ]

宮古島: 1♂, 10. XI. 2012, 大野山林 (K); 1♂1♀, 17. V. 2013, 大野山林 (K); 2♂1♀, 17. V. 2013, 野原越 (K); 1♂2♀, 28. VII. 2014, 野原岳 (K); 2♂5♀, 24. IX. 2014, 大野山林 (K); 1♂4♀, 14. V. 2015, 大野山林 (K)
伊良部島: 1♂, 6. VII. 2013, 牧山 (K); 1♂1

♀, 27. VII. 2014, 牧山 (K)

伊良部島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (Sugimoto, 2001; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)、池間島 (Sugimoto, 2001)、多良間島 (Sugimoto, 2001; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)

14. セグロキンヒバリ *Natula pravdini* (Gorochoy, 1985)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 池間島 (Sugimoto, 2001)

備考: 別名、ムナグロキンヒバリ。

15. クロヒバリモドキ *Trigonidium cicindeloides* Rambur, 1839

[採集標本データ]

宮古島: 1♂2♀, 24. IX. 2014, 大野山林 (K)
多良間島: 1♀, 10. V. 2014, 仲筋 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡, 1982; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)、多良間島 (杉本, 1996; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)

16. オキナワヒバリモドキ *Trigonidium pallipes* Stål, 1861

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (Sugimoto, 2001)、池間島 (小浜・佐々木, 2013)、多良間島 (杉本, 1996; Sugimoto, 2001; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)

17. イソスズ *Thetella elegans* Kobayashi, 1983

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (大城, 1988; 小濱ら, 2002; 日本直翅類学会, 2006; 2021; 小浜・砂川, 2020a)、多良間島 (沖縄県文化環

境部自然保護課、2009)

18. タカラウミコオロギ *Caconemobius takarai* (Ôshiro, 1990)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)

備考: 別名、ウスモンナギサズ。沖縄県版レッドデータブックのカテゴリーは準絶滅危惧 (沖縄県環境部自然保護課、2017)。

19. ネットイシバスズ *Polionemobius taprobanensis* (Walker, 1869)

[採集標本データ]

宮古島: 1♂1♀, 10. XI. 2012, 大野山林 (K); 2♀, 17. V. 2013, 大野山林 (K); 2♀, 17. V. 2013, 野原越 (K); 3♀, 18. V. 2013, 野原岳 (K); 1♂1♀, 24. IX. 2014, 大野山林 (K); 1♀, 14. V. 2015, 大野山林 (K); 1♂2♀, 20. V. 2016, 野原越 (K); 1♂1♀, 8. X. 2016, 野原岳 (K)

多良間島: 1♀, 10. V. 2013, 仲筋 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (大城、1986ab; 1988; 1995; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)

備考: 別名、リュウキュウシバスズ。

20. リュウキュウチビスズ *Pteronemobius sulfurariae* Chopard, 1931

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982)

備考: 宮古島の記録は疑問視されている (日本昆虫目録編集委員会、2020; 日本直翅類学会、2021)。

21. ネットイヤチスズ *Pteronemobius* sp.

[採集標本データ]

宮古島: 1♀, 5. VII. 2013, 大野山林 (K); 1♀, 14. V. 2015, 大野山林 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (奥山、2018)。

II カネタタキ科 Mogoplistidae

22. イソカネタタキ *Ornebius bimaculatus* (Shiraki, 1930)

[採集標本データ]

宮古島: 1♀, 26. IV. 2013, 大野山林 (K); 1♀, 28. IV. 2013, 大野山林 (K); 3♂3♀, 23. IV. 2015, 新城 (K); 3♀, 24. IV. 2015, 新城 (S); 1♂, 13. V. 2015, 大野山林 (K)

池間島: 1♀, 8. XII. 2012 (K)

伊良部島: 1♀, 18. V. 2013, 佐良浜 (K)

多良間島: 1♀, 12. V. 2013, 宮古市の森 (K)

[鳴き声確認データ]

大神島: 3exs, 27. IV. 2013 (K); 2exs, 5. III. 2016 (K)

多良間島: 1ex, 7. VI. 2013, 宮古市の森 (K)
池間島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982; 石川、1983; 大城、1986ab; 1988; 大城、1995; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2019b; 2020a)、大神島 (楠井、2010; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (小浜・砂川、2019b; 日本直翅類学会、2021)、多良間島 (杉本、1996; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009; 小浜・砂川、2020a)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)、フデ岩 (小浜・砂川、2020b)

備考: テッポウユリの花の中に潜んでいることがある (小浜・砂川、2019b)。

23. ヒルギカネタタキ *Ornebius fuscicerci* (Shiraki, 1930)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 多良間島 (日本直翅類学会、2021)

24. カネタタキ *Ornebius kanetataki*

(Matsumura, 1904)

[採集標本データ]

宮古島：1♂2♀, 18. XI. 2014, 大野山林 (K)

伊良部島：1♀, 12. VI. 2017, 牧山 (K)

伊良部島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1988 ; 1995 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

25. リュウキュウカネタタキ *Ornebius longipennis ryukyuensis* Ôshiro, 1998

[採集標本データ]

多良間島：1♂, 16. VII. 2014, 仲筋 (K) ; 1♂,

17. VII. 2014, 仲筋 (S)

[宮古諸島内の既知分布] 多良間島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 山下ら、2019 ; 日本直翅類学会、2021)

26. アシジマカネタタキ *Ectatoderus tamna* Kim, 2011

[採集標本データ]

多良間島：幼虫 1ex, 11. V. 2013, 仲筋 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 多良間島 (日本直翅類学会、2021)

27. オチバカネタタキ *Tubarama iriomotejimana* Yamasaki, 1985

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

III アリツカコオロギ科 Myrmecophilidae

28. シロオビアリツカコオロギ *Myrmecophilus albicinctus* (Chopard, 1924)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (日本直翅類学会、2021)

29. ミナミアリツカコオロギ *Myrmecophilus formosanus* Shiraki, 1930

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

30. フタオビアリツカコオロギ *Myrmecophilus* sp.

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2021)

IV ケラ科 Gryllotalpidae

31. ケラ *Gryllotalpa orientalis* Burmeister, 1839

[採集標本データ]

宮古島：1♂, 17. V. 2013, 大野山林 (K) ; 1♂,

18. V. 2013, 野原越 (K) ; 1♀, 5. VII. 2013,

大野山林 (K) ; 1♂, 28. VII. 2014, 野原岳 (K)

多良間島：1♀, 11. V. 2013, 仲筋 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (久貝ら、1990)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)

V カマドウマ科 Rhabdophoridae

32. タラマハヤシウマ *Diestrammena taramensis* Sugimoto & Ichikawa, 2003

[採集標本データ]

多良間島：3♂1♀, 25. VII. 2008, 塩川 (S) ;

1♀, 16. VII. 2014, 仲筋 (K) ; 1♂, 17. VII.

2014, 仲筋 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 多良間島 (小濱ら、2002 ; Sugimoto & Ichikawa, 2003 ; 日本直翅

類学会、2006；2016；2021；沖縄県文化環境部自然保護課、2009；小浜・砂川、2020a)

備考：多良間島の固有種。沖縄県版レッドデータブックのカテゴリーは絶滅危惧II類（沖縄県環境部自然保護課、2017）。

33. ウスイロキマダラウマ *Neotachycines pallidus* Sugimoto & Ichikawa, 2003

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島（大城、1988；小濱ら、2002；Sugimoto & Ichikawa, 2003；日本直翅類学会、2006；2016；2021；小浜・砂川、2020a）、伊良部島（Sugimoto & Ichikawa, 2003；日本直翅類学会、2016；小浜・砂川、2020a）

備考：大城（1988）のミヤコカマドウマ（新称）*Diestrammena* sp. および小濱ら（2002）のミヤコカマドウマ *Atachycine* sp. 3 は本種のことである。沖縄県版レッドデータブックのカテゴリーは絶滅危惧II類（沖縄県環境部自然保護課、2017）。

VI コロギス科 Gryllacrididae

34. コバネコロギス *Metriogryllacris magna* (Matsumura & Shiraki, 1908)

[採集標本データ]

宮古島：1♀，26. IV. 2013，ウヰピア（K）；2幼虫，6. V. 2013，大野山林（S）；2♀，8. VII. 2013，学びの森（S）；1♀，12. VI. 2014，狩俣（K）

池間島：1♂，21. V. 2009（S）

大神島：幼虫 1ex，5. III. 2016（K）

伊良部島：1♂，27. VII. 2014，牧山（K）；幼虫 1ex，5. III. 2016，牧山（比嘉祐成氏採集）

多良間島：1♂，16. V. 2009，塩川（S）

大神島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島（岡、1982；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a）、池間島（小浜・佐々木、

2013）、来間島（楠井、2010；小浜・砂川、2020a）、伊良部島（久貝ら、1990）、多良間島（杉本、1996；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；沖縄県文化環境部自然保護課、2009；小浜・砂川、2020a）

VII キリギリス科 Tettigoniidae

35. オキナワキリギリス *Gampsocleis ryukyuensis* Yamasaki, 1982

[採集標本データ]

下地島：1♂3♀，3. VIII. 2016（S）；1♂2♀，19. VIII. 2016（S）；1♂，23. VIII. 2016（S）

今回の調査では、下地島で確認されているが、従来、分布記録のある宮古島と伊良部島（岡、1982；久貝ら、1990）では見つからなかった。後述のように、種名については検討する必要があるが、ここでは本種として扱うことにする。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島（岡、1982；直翅類研究グループ、1983；大城、1986b；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a）、伊良部島（久貝ら、1990；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a）、下地島（日本直翅類学会、2021）

備考：別名、リュウキュウキリギリス。大城（1986a）は、岡（1982）の採集データにもとづいて、伊良部島を産地にあげているが、このデータは宮古島のものと同じで、岡（1982）の記録を誤認したと思われる。したがって、大城（1986b）の分布表にある伊良部島はここでは除外している。沖縄県版レッドデータブックのカテゴリーは絶滅危惧II類（沖縄県環境部自然保護課、2017）。

36. オキナワシブイロカヤキリ *Xestophrys platynotus* (Matsumura & Shiraki, 1908)

[採集標本データ]

宮古島：1♀，13. VII. 2016，野原越（K）

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (小浜ら、1994 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

37. オガサワラクビキリギス
Euconocephalus nasutus (Thunberg, 1815)

[採集標本データ]

宮古島 : 1♀, 5. VII. 2013, 野原越 (K)

池間島 : 1♀, 30. VIII. 2014 (K)

多良間島 : 1♂, 16. XI. 2011, 塩川 (K) ; 1♂,

17. VII. 2014, 仲筋 (K)

池間島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)

38. クビキリギス *Euconocephalus varius*
(Walker, 1869)

[採集標本データ]

宮古島 : 1♂, 22. IV. 2015, 新城 (K) ; 1♀, 8. X. 2016, 野原岳 (K)

池間島 : 1♀, 30. VIII. 2014 (K)

伊良部島 : 1♀, 2. V. 2012, 牧山 (S)

多良間島 : 1♂, 16. XI. 2011, 塩川 (K)

池間島、伊良部島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

39. コバネササキリ *Conocephalus japonicus*
(Redtenbacher, 1891)

[採集標本データ]

池間島 : 1♂1♀, 30. VIII. 2014 (K) ; 1♀, 30. VIII. 2014 (S)

[宮古諸島内の既知分布] 池間島 (小浜・佐々木、2013 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

備考 : 湿地草原性の種で、宮古諸島においては池間島のみが産地として知られる。沖縄県版レッドデータブックのカテゴリーは準絶滅危惧 (沖縄県環境部自然保護課、2017)。

40. ホシササキリ *Conocephalus maculatus*
(le Guillou, 1841)

[採集標本データ]

宮古島 : 1♀, 27. VII. 2012, 大野山林 (S)

大神島 : 1♀, 6. III. 2016 (K)

伊良部島 : 1♂, 4. IX. 2015, 牧山 (K)

下地島 : 1♀, 3. VIII. 2016 (S)

多良間島 : 1♂, 16. V. 2009, 塩川 (S) ; 1♀, 16. XI. 2011, 塩川 (K)

大神島、伊良部島および下地島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986ab ; 1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、池間島 (小浜・佐々木、2013)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)

41. ササキリ *Conocephalus melaenus* (de Haan, 1843)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (大城、1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

42. アシグロウマオイ *Hexacentrus fuscipes*
Matsumura & Shiraki, 1908

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (小浜ら、1994 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

43. タイワンウマオイ *Hexacentrus unicolor* Audinet-Serville, 1831

[採集標本データ]

宮古島 : 4♂2♀, 1. VIII. 2008, 大野山林 (S) ; 1♀, 8. VII. 2013, 学びの森 (S) ; 1♂, 19. VI. 2014, 大野山林 (S) ; 1♀, 20. VIII. 2015, 大野山林 (S) ; 2♂, 13. VII. 2016, いこいの森 (K)

来間島 : 1♀, 29. VIII. 2014 (K)

伊良部島 : 1♂, 6. VII. 2013, 牧山 (K)

下地島 : 1♀, 3. VIII. 2016 (S)

多良間島 : 1♀, 17. VII. 2014, 仲筋 (K)

来間島、伊良部島および下地島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

VIII ツユムシ科 *Phaneropteridae*

44. タイワンクツワムシ *Mecopoda elongata* (Linnaeus, 1758)

[採集標本データ]

宮古島 : 1♀, 3. V. 2009, 大野山林 (S) ; 1♀, 22. IV. 2015, 新城 (K) ; 1♀, 13. VII. 2016, いこいの森 (K) ; 1♀, 26. VII. 2016, 野原 (K)

[鳴き声確認データ]

大神島 : 2exs, 4. III. 2016 (K)

大神島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (東、1975a ; 岡、1982 ; 大城、1986ab ; 1988 ; 小濱ら、2002 ;

日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、池間島 (小浜・佐々木、2013)、多良間島 (大城、1986ab ; 杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

45. リュウキュウツユムシ *Phaneroptera gracilis* Burmeister, 1838

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

46. セスジツユムシ *Ducetia japonica* (Thunberg, 1815)

[採集標本データ]

宮古島 : 1♀, 5. VII. 2013, 大野山林 (K) ; 1♀, 13. VI. 2014, 新城 (K) ; 1♀, 18. XI. 2014, 大野山林 (K) ; 1♀, 23. IV. 2015, 大野山林 (K) ; 1♂, 12. V. 2015, ウィピャ (K) ; 1♀, 19. V. 2016, 添道 (K) ; 1♀, 9. X. 2016, 添道 (K) 伊良部島 : 1♂, 11. VI. 2017, 牧山 (K)

2014年6月13日の宮古島新城の1♀は、キンモウアナバチ *Sphex diabolicus* Smith, 1858 (アナバチ科) が捕えた獲物を失敬したものである。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (東、1975a ; 岡、1982 ; 大城、1986b ; 1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (久貝ら、1990 ; 日本直翅類学会、2021)、下地島 (日本直翅類学会、2021)、多良間島 (日本直翅類学会、2021)

47. ナカオレツユムシ *Isopsera denticulata* Ebner, 1939

[採集標本データ]

伊良部島 : 1♂, 11. VII. 2012, 牧山 (S)

宮古諸島新記録。

48. ダイトウクダマキモドキ *Phaulula daitoensis* (Matsumura & Shiraki, 1908)

[採集標本データ]

宮古島：1♀, 5. VII. 2013, 大野山林 (K) ; 1♀, 8. VII. 2013, 学びの森 (S) ; 1♂, 13. VI. 2014, 加治道 (K) ; 1♂1♀, 13. VI. 2014, 新城 (K) ; 2♂, 27. VI. 2014, 大野山林 (S) ; 1♀, 28. VII. 2014, 野原岳 (K) ; 1♂1♀, 13. VII. 2016, いこいの森 (K)

池間島：1♂, 29. VII. 2014 (K) ; 1♀, 24. X. 2014 (S)

伊良部島：1♀, 6. VII. 2013, 牧山 (K) ; 1♂, 27. VII. 2014, 牧山 (K) ; 1♀, 20. VIII. 2016, 牧山 (K) ; 1♂, 11. VI. 2017, 牧山 (K)

多良間島：1♂, 16. VII. 2014, 仲筋 (K) ; 2♂2♀, 17. VII. 2014, 仲筋 (K) ; 1♀, 18. VII. 2014, 普天間港 (K)

池間島、伊良部島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 直翅類研究グループ、1983 ; 大城、1986b ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小濱・砂川、2020a)、大神島 (楠井、2010 ; 小濱・砂川、2020a)、多良間島 (直翅類研究グループ、1983 ; 大城、1986b ; 杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小濱・砂川、2020a)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

IX ノミバツタ科 Tridactylidae

49. マダラノミバツタ *Xya riparia* (Saussure, 1877)

宮古諸島の新記録であったので、その採集データは先に報告した (小濱、2020)。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (小濱、2020 ; 日本直翅類学会、2021)

X ヒシバツタ科 Tetrigidae

50. オキナワトゲヒシバツタ *Criotettix okinawanus* Ichikawa, 1994

[採集標本データ]

宮古島：1♂, 22. IV. 2015, 上地 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小濱・砂川、2020a)

51. ナガレトゲヒシバツタ *Eucriotettix oculatus* (Bolivar, 1898)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2016 ; 2021 ; 小濱・砂川、2020a)

52. ミナミハネナガヒシバツタ *Euparatettix histricus* (Stål, 1861)

[採集標本データ]

宮古島：1♀, 3. V. 2009, 大野山林 (S) ; 1♀, 13. XI. 2012, 大野山林 (S) ; 1♀, 28. IV. 2013, 大野山林 (S) ; 1♂2♀, 17. V. 2013, 大野山林 (K) ; 1♀, 24. VIII. 2014, 大野山林 (S) ; 1♂1♀, 24. IX. 2014, 大野山林 (K) ; 1♂5♀, 13. V. 2015, 大野山林 (K) ; 1♂1♀, 14. V. 2015, 大野山林 (K) ; 2♀, 20. V. 2016, 大野山林 (K) ; 1♂1♀, 12. VII. 2016, 大野山林 (K) ; 1♀, 13. VII. 2016, いこいの森 (K) ; 1♂2♀, 8. X. 2016, 野原岳 (K) ; 2♀, 9. X. 2016, 福山 (K) ; 1♀, 9. X. 2016, 宮原 (K)

池間島：1♂3♀, 29. VII. 2014 (K) ; 4♂2♀, 30. VIII. 2014 (K)

伊良部島：1♂1♀, 9. IV. 2012, 牧山 (S)

伊良部島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小濱・砂川、2020a)、池間島 (小濱・佐々木、2013 ; 日本直翅類学会、2021)

53. ホソハネナガヒシバツタ *Euparatettix tricarinatus* (Bolivar, 1887)

[採集標本データ]

宮古島：1♂, 22. IV. 2015, 上地 (K) ; 1♀, 20. V. 2016, 野原越 (K) ; 1♂, 22. V. 2016, 学びの森 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

54. セダカヒシバツタ *Hedotettix gracilis* (de Haan, 1842)

[採集標本データ]

宮古島：1♀, 19. IV. 2012, 大野山林 (S) ; 2♂ 1♀, 26. IV. 2013, 大野山林 (K) ; 1♂1♀, 17. V. 2013, 大野山林 (K) ; 1♀, 24. IX. 2014, 大野山林 (K) ; 1♂1♀, 12. V. 2015, いこいの森 (K) ; 1♀, 14. V. 2015, 大野山林 (K) ; 1♀, 20. V. 2015, 野原越 (K) ; 1♀, 22. V. 2016, 学びの森 (K) ; 3♂2♀, 12. VII. 2016, 大野山林 (K) ; 1♀, 14. VII. 2016, 大野山林 (K) ; 5♂, 8. X. 2016, 野原岳 (K)

池間島：1♂3♀, 12. VI. 2014 (S)

宮古島、池間島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 楠井、2005 ; 2010 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

備考：多良間島の楠井(2005)と楠井(2010)の記録はデータが同じである。

55. ヒメヒシバツタ *Tetrix minor* Ichikawa, 1993

[採集標本データ]

宮古島：1♂, 19. IV. 2009, 大野山林 (S) ; 2♂ 3♀, 15. II. 2013, 野原越 (S) ; 1♂, 26. IV. 2013, 大野山林 (K) ; 1♀, 5. VII. 2013, 大野山林 (K) ; 1♂, 21. IV. 2015, ウィピア (K) ; 2♂2♀, 12. V. 2015, いこいの森 (K) ; 1♀, 13. V. 2015, 大野山林 (K) ; 3♂1♀, 12. VII. 2016, 大野山林 (K) ; 1♀, 13. VII. 2016, いこいの森 (K) ; 1♂, 14. VII. 2016, 大野山林 (K)

来間島：3♀, 21. V. 2016 (K)

伊良部島：2♀, 6. VII. 2013, 牧山 (K)

多良間島：1♂, 16. III. 2013, 仲筋 (K) ; 1♂, 10. V. 2013, 仲筋 (K) ; 1♂1♀, 20. III. 2016, 仲筋 (K)

水納島：2♂, 22. III. 2016 (K)

来間島、水納島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (Ichikawa, 1997 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)

XI オンブバツタ科 Pyrgomorphidae

56. オンブバツタ *Atractomorpha lata* (Motschoulsky, 1866)

[採集標本データ]

宮古島：1♂1♀, 8. III. 2013, 野原岳 (K)

一部のデータは既に報告している (小浜、2020)。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 小濱ら、2002 ; 小浜、2020 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (久貝ら、1990 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

備考：日本直翅類学会 (2016) に宮古島以南からは未発見とあるのは誤りである。

57. アカハネオンブバツタ *Atractomorpha sinensis sinensis* Bolívar, 1905

[採集標本データ]

宮古島：1♀, 1. IV. 2014, 友利 (S) ; 1♀, 13. V. 2015, 狩俣 (K) ; 1♂, 10. VIII. 2015, 野原越 (S) ; 1♂, 19. VI. 2016, 添道 (K)

池間島：1♂, 29. VII. 2014 (K)

来間島：1♀, 29. VIII. 2014 (K)

伊良部島：1♀，18. V. 2013，牧山 (K)；1♂，27. VII. 2014，牧山 (K)；1♀，27. VII. 2014，仲地 (K)

多良間島：1♂，16. III. 2013，普天間港 (K)；1♂，20. III. 2016，仲筋 (K)

水納島：1♀，22. III. 2016，(K)

来間島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982；大城、1986b；1988；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021)、池間島 (小浜・佐々木、2013)、伊良部島 (小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；沖縄県文化環境部自然保護課、2009；小浜・砂川、2020a)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

XII バッタ科 Acrididae

58. アカアシホソバッタ *Stenocatantops mistschenkoi* (F. Willemse, 1968)

[採集標本データ]

大神島：1♂，6. III. 2016，(K)

水納島：1♂，22. III. 2016，(K)

大神島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982；直翅類研究グループ、1983；大城、1986b；1988；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a)、池間島 (小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (久貝ら、1990)、多良間島 (杉本、1996；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

59. イシガキモリバッタ *Traulia ornata ishigakiensis* Yamasaki, 1966

[採集標本データ]

宮古島：1♀，1. VIII. 2008，大野山林 (S)

[撮影データ]

宮古島：1♀，26. IX. 2014，大野山林 (K)

[目撃データ]

宮古島：幼虫 2exs, 26. IV. 2013，大野山林 (K)；1♀，26. IX. 2014，大野山林 (K)

多良間島：幼虫 1ex, 11. V. 2013，普天間港 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (小浜、1995；日本直翅類学会、2006；2016；2021；小浜・砂川、2020a)、来間島 (日本直翅類学会、2021)、伊良部島 (青柳、2015；小浜・砂川、2020a)、多良間島 (小浜、1995；杉本、1996；日本直翅類学会、2006；2016；2021；沖縄県文化環境部自然保護課、2009；山下ら、2019；小浜・砂川、2020a)

備考：日本直翅類学会 (2021) の分布表には宮古諸島産はイシガキモリバッタではなく、ミヤコモリバッタとされている。

60. ツチイナゴ *Patanga japonica* (Bolívar, 1898)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 多良間島 (杉本、1996；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a)

備考：比較的古い地層からできた「国頭マーヅ」地帯を中心に生息し、沖縄島中北部、西表島から記録されている (仲盛・佐渡山、2001)。

61. タイワンツチイナゴ *Patanga succincta* (Johansson, 1763)

[採集標本データ]

来間島：1♂，18. III. 2015，(S)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (東、1975a 岡、1982；安田、1986；大城、1986b；1988；仲盛・佐渡山、2001；小濱ら、2002；日本直翅類学会、2006；2021；小浜・砂川、2020a)、池間島 (小濱ら、2002；小浜・砂川、2020a)、大神島 (安谷屋ら、1982)、来間島 (日本直翅類学会、2021)、伊良部島 (久貝ら、1990)、多良間島 (安田、

1986; 仲盛・佐渡山、2001; 日本直翅類学会、2021)、水納島(沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

備考: 別名、セスジツチイナゴ。沖縄県のほぼ全域に分布する(仲盛・佐渡山、2001)。沖縄県の農業関係者はセスジツチイナゴと呼んできた。干ばつ年に多発生し、しばしばサトウキビに被害を与える(新垣・藤崎、1987)。

62. タイワンハネナガイナゴ *Oxya chinensis* (Thunberg, 1815)

[採集標本データ]

宮古島: 1♂, 3. III. 2016, 大野山林 (K); 1♂1♀, 12. VII. 2016, 大野山林 (K); 1♀, 14. VII. 2016, 大野山林 (K); 1♂, 9. X. 2016, 福山 (K)

池間島: 2♂1♀, 30. VIII. 2014 (K)

多良間島: 1♂, 16. V. 2009, 塩川 (S); 1♂1♀, 16. XI. 2011, 塩川 (K); 1♂, 16. XI. 2011, 仲筋 (K); 1♀, 20. III. 2016, 塩川 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島(小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)、池間島(小浜・佐々木、2013)、多良間島(杉本、1996; 小濱ら、2002; 楠井、2005; 2010; 日本直翅類学会、2006; 2021; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009; 小浜・砂川、2020a)

備考: 東(1975a) および大城(1986b) がハネナガイナゴと記録したのは本種のことと思われる。楠井(2005) と楠井(2010) の多良間島の記録は同じデータである。

63. オキナワイナゴモドキ *Gesonula punctifrons* (Stål, 1861)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島(小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)

64. ヒゲマダライナゴ *Hieroglyphus*

annulicornis (Matsumura, 1910)

[採集標本データ]

宮古島: 2♀, 14. VII. 2016, 大野山林 (K)

伊良部島: 1♂, 11. VII. 2012, 前里添 (S)

多良間島: 1♂1♀, 16. VII. 2014, 長嶺 (S)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島(東、1975a; 岡、1982; 大城、1986b; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)、来間島(日本直翅類学会、2021)、伊良部島(小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2016; 2021; 小浜・砂川、2020a)、多良間島(杉本、1996; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2016; 2021; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009; 小浜・砂川、2020a)

備考: 普段、ススキ原で、低密度で生活しているが、時々、多発生し、ススキを丸坊主にし、さらにはススキ原に近接するサトウキビを加害することがある(東、1975b)。集団でサトウキビを食害するため、葉の主脈だけが残り、サトウキビ畑がスカスカになるくらいの被害を与えることがある。

65. セグロイナゴ *Shirakiacris shirakii* (Bolívar, 1914)

[採集標本データ]

宮古島: 1♂, 30. V. 2009, 大野山林 (S); 1♀, 22. V. 2016, 学びの森 (K)

池間島: 幼虫 1ex, 20. V. 2016, (K)

来間島: 1♂, 29. VIII. 2014, (S)

池間島と来間島から新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島(岡、1982; 大城、1986b; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 小浜・砂川、2020a)、多良間島(杉本、1996; 小濱ら、2002; 日本直翅類学会、2006; 2021; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009; 小浜・砂川、2020a)

備考: 以前、イシガキセグロイナゴと呼ばれていた。

66. ショウリョウバツタ *Acrida cinerea*
(Thunberg, 1815)

[採集標本データ]

宮古島 : 1♂, 17. XI. 2014, 西里添 (S)
伊良部島 : 1♀, 11. VII. 2012, 前里添 (S) ; 1♂, 4. IV. 2015, 佐和田 (K)

[目撃データ]

大神島 : 幼虫 2exs, 6. III. 2016 (K)

大神島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (東、1975a ; 岡、1982 ; 直翅類研究グループ、1983 ; 大城、1986b ; 1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (久貝ら、1990 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 楠井、2005 ; 楠井、2010 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

備考 : 多良間島の楠井 (2005) と楠井 (2010) の記録は同じデータである。

67. ショウリョウバツタモドキ *Gonista bicolor* (de Haan, 1842)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (大城、1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

備考 : 小浜・砂川 (2020a) に示した多良間島は誤りであるので削除する。

68. マダラバツタ *Aiolopus thalassinus tamulus* (Fabricius, 1798)

[採集標本データ]

宮古島 : 幼虫 1ex, 10. III. 2013, 学びの森 (S) ; 1♂, 29. VIII. 2014, 上地 (K)
池間島 : 2♂, 29. VII. 2014 (K)
来間島 : 2♂, 29. VIII. 2014 (K) ; 1♂, 21. V.

2016 (K)

伊良部島 : 1♀, 6. VII. 2013, 牧山 (K) ; 1♂, 27. VII. 2014, 牧山 (K)

多良間島 : 1♀, 16. XI. 2011, 塩川 (K) ; 1♂, 17. VII. 2014, 仲筋 (K) ; 1♀, 20. III. 2016, 塩川 (K)

水納島 : 1♀, 9. VI. 2013 (K) ; 1♀, 22. III. 2016 (K)

[目撃データ]

大神島 : 1ex, 6. III. 2016 (K)

大神島、来間島新記録。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 直翅類研究グループ、1983 ; 大城、1986b ; 1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、池間島 (小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (久貝ら、1990 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 楠井、2005 ; 2010 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 沖縄県文化環境部自然保護課、2009 ; 小浜・砂川、2020a)、水納島 (沖縄県文化環境部自然保護課、2009)

備考 : 多良間島の楠井 (2005) と楠井 (2010) の記録は同じデータである。小浜・砂川 (2020a) に示した来間島は誤りであるので削除する。

69. アカアシバツタ *Heteropternis rufipes* (Shiraki, 1910)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (日本直翅類学会、2021)

70. トノサマバツタ *Locusta migratoria* (Linnaeus, 1758)

[採集標本データ]

宮古島 : 1♂, 28. VII. 2014, 野原越 (K)
下地島 : 1♀, 3. VIII. 2016 (S)
多良間島 : 1♂2♀, 17. III. 2014, 仲筋 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、大神島 (安谷屋ら、1982)、伊良部島 (久貝ら、1990 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2021 ; 小浜・砂川、2020a)、下地島 (Shimizu et al., 2012 ; 清水・西出、2013 ; 小浜・砂川、2020a ; 日本直翅類学会、2021)、多良間島 (日本直翅類学会、2021)、水納島 (田中・桐谷、1987)

備考：世界的に著名な飛蝗の一種で、国内でもしばしば大発生し、害虫化する (田中、1983)。宮古諸島においては 1985 年に水納島で大発生し、牧草に害を与え (田中・桐谷、1987)、最近では 2011 年に下地島で大発生し、サトウキビに害を与えた (Shimizu et al., 2012 ; 清水・西出、2013)。

71. クルマバッタ *Gastrimargus marmoratus* (Thunberg, 1815)

[採集標本データ]

宮古島：1♂, 22.V.2016, 学びの森 (K) ; 1♂, 14.VII.2016, 大野山林 (K)

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 直翅類研究グループ、1983 ; 大城、1986b ; 1988 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)、伊良部島 (久貝ら、1990 ; 小濱ら、2002 ; 小浜・砂川、2020a)、多良間島 (杉本、1996 ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

72. タイワンイボバッタ *Trilophidia annulata* (Thunberg, 1815)

今回の調査では確認できなかった。

[宮古諸島内の既知分布] 宮古島 (岡、1982 ; 大城、1986b ; 小濱ら、2002 ; 日本直翅類学会、2006 ; 2021 ; 小浜・砂川、2020a)

備考：以前、イボバッタと呼ばれていた (大城、1986b)。

考察

本調査により、宮古諸島から 11 科 46 種のバツタ類を確認した。そのうち 21 種はいずれかの島の新記録種で、宮古諸島の新記録種は、伊良部島で確認されたナカオレツユムシ 1 種のみであった。

島ごとに今回確認された種数をみると、宮古島から 10 科 37 種 (新記録 1 種)、池間島 8 科 13 種 (新記録 7 種)、大神島 4 科 6 種 (新記録のみ 6 種)、来間島 5 科 7 種 (新記録 6 種)、伊良部島 8 科 19 種 (新記録 10 種)、下地島 2 科 4 種 (新記録 2 種)、多良間島 10 科 24 種 (新記録なし)、水納島 3 科 4 種 (新記録 1 種) であった。各島の新記録種は以下のとおりである。

宮古島：セダカヒシバツタ

池間島：ネッタイオカメコオロギ、イソカネタタキ、オガサワラクビキリギス、クビキリギス、ダイトウクダマキモドキ、セダカヒシバツタ、セグロイナゴ

大神島：コバネコロギス、ホシササキリ、タイワンクツワムシ、アカアシホソバツタ、ショウリョウバツタ、マダラバツタ

来間島：ヒメコガタコオロギ、タイワンウマオイ、ヒメヒシバツタ、アカハネオンブバツタ、セグロイナゴ、マダラバツタ

伊良部島：ヒメコガタコオロギ、ネッタイオカメコオロギ、カヤヒバリ、カネタタキ、クビキリギス、ホシササキリ、タイワンウマオイ、ナカオレツユムシ、ダイトウクダマキモドキ、ミナミハネナガヒシバツタ

下地島：ホシササキリ、タイワンウマオイ

水納島：ヒメヒシバツタ

以上の新記録種の多くは、いわゆる普通種である。このことは、宮古島や多良間島、水納島以外の島々におけるバツタ類の分布調査がこれまでかなり不十分であったことを示唆している。宮古諸島から初めて記録されたナカオレツユム

シは、日本、台湾、中国に分布し、国内では奄美諸島、沖縄諸島、八重山諸島から記録されていた(日本直翅類学会、2016; 2021)。今回の調査により、本種は宮古諸島にも分布することが確認された。ただし、わずか雄1頭が伊良部島で得られただけで、個体数は少ないかもしれない。本種は樹上性で、したがって林が生息地であるので、おそらく大野山林など林のある宮古島にも生息している可能性がある。

これまでに記録がある種(分布が疑問のリウキュウチビスズを含む)に、今回の調査で確認された種を加えると、宮古諸島から12科72種のバツタ類が記録されたことになる。島ごとでみると、宮古島10科61種、池間島8科19種、大神島6科11種、来間島6科10種、伊良部島10科31種、下地島2科4種、多良間島11科48種、水納島6科12種となる。これらの結果から、宮古島と多良間島を除いた他の島々では十分な調査がなされていないと考えられる。特に大神島、来間島、下地島はまだまだ調査不足であろう。したがって、今後の調査の進展により、宮古諸島の島々におけるバツタ類の種数が追加され、諸島全体のバツタ相が明らかになっていくと考えられる。

宮古諸島のバツタ類で特筆すべきはオキナワキリギリスである。本種は沖縄諸島と宮古諸島に分布する(大城、1986b)、特異な分布パターンをもつ種で、大型で肉食性が強く、ススキやギンネムなどが混生する、丈の高い茂みに生息する。今回の調査では、下地島で確認されているが、従来、分布記録のあった宮古島と伊良部島(岡、1982; 久貝ら、1990)では見つからない。宮古島と伊良部島では少なくとも1980年代までは見られた(小浜・砂川、2019a)が、その後は生息が確認されておらず、両島では絶滅した可能性が高い。今回の調査で、下地島では下地島空港や隣接する草丈の低い草地でキリ

ギリス類の鳴き声が多数聞かれた。明らかにオキナワキリギリスとは生息環境が異なっているようであった。オキナワキリギリスは体が比較的大きく、翅が長いという特徴をもつ。今回、下地島からオキナワキリギリスの特徴をもった個体と、体が小さな個体が得られており、後者は、これまで筆者らが確認したオキナワキリギリスとは異なっているように見えるため、あるいは本土産のキリギリス類ではないかと考えられた(小浜・砂川、2019a)。したがって、下地島には2種のキリギリスが生息している可能性がある。しかし、体サイズは個体変異の範囲なのか、別種が混じっているのかを判断するには、材料が乏しく、現時点では明らかではないため、本報告ではオキナワキリギリスとして記録した。今後、材料を集め、形態比較やDNA解析を行い、種を同定する必要がある。

まとめ

1. 今回のバツタ類の生息調査により、宮古諸島から11科46種が確認された。これらのうち、宮古諸島からの新記録はナカオレツユムシ1種で、本種を含め21種はいずれかの島の新記録種であった。
2. 今回確認された種を、これまでに記録された種に加えると、宮古諸島から12科72種のバツタ類が記録されたことになる。
3. 宮古諸島におけるバツタ類の分布調査は、まだまだ不十分—特に大神島や下地島など—と考えられ、バツタ相の解明のためには継続的な調査が望まれる。
4. オキナワキリギリスは、今回、下地島のみで確認され、従来生息が確認されていた宮古島と伊良部島では見つからなかった。下地島産には体サイズの大きい個体と小さな個体が混じっており、今後材料を集め、種について検討する必要がある。

引用文献

- 安谷屋 昭・川上 勲・久貝勝盛・砂川信夫・下地恵常・下地秀男・宮国 進 (1982) 大神島の自然調査—動・植物生態と地形地質. 昭和 56 年度文化財愛護モデル地区指定記念 平良市の天然記念物—調査報告集 : 17-45. 平良市教育委員会.
- 青柳 克 (2015) 沖縄・宮古諸島における直翅系昆虫 (ゴキブリ・カマキリ・バッタ) の分布追加記録. 琉球の昆虫, (39) : 219-224.
- 新垣則雄・藤崎憲治 (1987) サトウキビの萎凋程度とセスジツチイナゴによる食害との関係. 沖縄県農業試験場研究報告, (12) : 23-27.
- 東 清二 (1975a) 宮古島の昆虫相. 沖縄県立自然公園候補地学術調査 (宮古群島) : 89-127.
- 東 清二 (1975b) 沖縄の昆虫類. 143pp. 風土記社, 那覇.
- 直翅類研究グループ (1983) 日本の直翅類. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第 15 集. 101pp. 大阪市立自然史博物館.
- Ichikawa, A. (1997) A revision of the Family Tetrigidae (Orthoptera) of the Ryukyu Islands, Southern Japan, with descriptions of new species and subspecies (Part 2) . Japanese Journal of Entomology, 65: 834-846.
- 石川 均 (1983) 与那国島、宮古島の直翅類、そのた. ぱったりぎす, (52) : 1563-65.
- 小浜継雄 (1993) 伊良部島および与那国島のマツムシ. 月刊むし, (272) : 30-31.
- 小浜継雄 (1995) モリバッタ類の分布記録. ぱったりぎす, (104) : 33-35.
- 小浜継雄 (2020) 宮古島のオンブバッタとマダラノミバッタの採集記録. Pulex, (99) : 851-852.
- 小浜継雄・佐々木健志 (2013) 宮古諸島池間島のトンボ・直翅類. 宮古島市総合博物館紀要, (17) : 76-80.
- 小浜継雄・砂川博秋 (2019a) 昆虫類. 宮古島市史編さん委員会 (編) 宮古島市史 第三巻 自然編第 1 部 (本編) みやこの自然 : 373-406. 宮古島市教育委員会, 宮古島市.
- 小浜継雄・砂川博秋 (2019b) テッポウユリの花に潜むイソカネタタキ. Pulex, (98) : 791-792.
- 小浜継雄・砂川博秋 (2020a) 宮古諸島産昆虫目録. 宮古島市史編さん委員会 (編) 宮古島市史 第三巻 自然編 第 1 部 みやこの自然 別冊 ビジュアルみやこの自然・宮古諸島生物目録 : 277-321. 宮古島市教育委員会, 宮古島市.
- 小浜継雄・砂川博秋 (2020b) 宮古諸島フデ岩で確認された昆虫類. 宮古島市総合博物館紀要, (24) : 123-128.
- 小浜継雄・栗国礼央奈・原口 大 (1994) 伊良部島で確認されたアシグロウマオイとシブイロカヤキリモドキ. 月刊むし, (286) : 10.
- 小浜継雄・市川顕彦・杉本雅志 (2002) バッタ目 (直翅目). pp. 55-67. 東 清二 (監修) 屋富祖昌子・金城政勝・林 正美・小浜継雄・佐々木健志・木村正明・河村 太編 増補改訂琉球列島産昆虫目録. 沖縄生物学会, 沖縄・西原.
- 久貝勝盛・当山昌直・小浜継雄・仲間明典編 (1990) 池原貞雄 (監修) いらぶの自然 動物編. 290 pp. 伊良部町.
- 楠井善久 (2005) 多良間島における昆虫採集記録. 琉球の昆虫, (26) : 33-37.
- 楠井善久 (2010) 琉球列島の小島嶼における直翅目の採集記録. 琉球の昆虫, (34) : 57-59.
- 宮古島市史編さん委員会編 (2019) 宮古島市史 第三巻 自然編第 1 部 (本編) みやこの自然 568pp. 宮古島市教育委員会, 宮古島市.
- 仲盛広明・佐渡山安常 (2001) タイワンツチイナゴとツチイナゴの簡易識別法と沖縄県内における分布. 沖縄県農業試験場研究報告, (23) : 56-60.
- 日本直翅類学会編 (2006) バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 687pp. 北海道大学出版会,

- 札幌.
- 日本直翅類学会編 (2016) 町田龍一郎 (監修) 日本産直翅類標準図鑑. 384pp. 学研プラス, 東京.
- 日本直翅類学会編 (2021) 都道府県・島嶼別日本産直翅目分布表. ばったりぎす, (164), 1-27.
- 日本昆虫目録編集委員会編 (2020) 日本昆虫目録 第3巻 直翅系昆虫類. 204pp. 権歌書房, 福岡.
- 岡 徹 (1982) 宮古島のカマキリ、ナナフシ、直翅目相. 沖縄生物学会誌, (20) : 25-29.
- 沖縄県文化環境部自然保護課編 (2009) 昆虫類. 県立自然公園新規指定調査 (宮古郡多良間村) 報告書: 4・93-103+資・8-11. 沖縄県文化環境部自然保護課.
- 沖縄県環境部自然保護課編 (2017) 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版 (動物編) —レッドデータおきなわ. 712pp. 沖縄県環境部自然保護課.
- 奥山風太郎 (2018) 図鑑日本の鳴く虫 コオロギ類 キリギリス類 採り方から飼い方まで. 158pp. エムピージェー, 神奈川.
- 大城安弘 (1986a) 琉球列島産鳴く虫に関する研究第10報 琉球列島の直翅目相. 沖縄農業, 21 (1/2) : 29-52.
- 大城安弘 (1986b) 琉球列島の鳴く虫たち. 鳴き虫会, 157pp. 那覇.
- 大城安弘 (1988) 宮古島の直翅目相. 琉球の昆虫, (12) : 29-32.
- 大城安弘 (1995) 琉球列島産コオロギ科昆虫に関する研究. 鳴き虫会, 131pp. 那覇.
- 佐々木健志・山城照久・村山 望 (2009) 生態写真と鳴き声で知る沖縄の鳴く虫 50種. 78pp. 新星出版, 那覇.
- Shimizu, Y., Y. Nishide, S. Tanaka, M. Murata, N. Sikenbaru, M. Yoza, H. Miyaguni and Y. Matayosi (2012) Gregarization of the migratory locust *Locusta migratoria* (Orthoptera: Acrididae) and prompt control on a subtropical island in Okinawa, Japan. *International Journal of Tropical Insect Science*, 32: 148-157.
- 清水優子・西出雄大 (2013) 沖縄県下地島におけるトノサマバッタの異常発生と生活史. 植物防疫, 67: 21-26.
- 杉本雅志 (1996) '96 6/3-6 多良間島の直翅類. ばったりぎす, (108) : 58.
- Sugimoto, M. (2001) Taxonomic study of Trigonidiinae (Orthoptera: Trigonidiidae) of the Ryukyus, SW Japan, with descriptions of two new species. *Tettigonia*, (3) : 81-87.
- Sugimoto, M. and A. Ichikawa (2003) Review of Rhabdiphoridae (excluding Protrigrophilinae) (Orthoptera) of Japan. *Tettigonia*, (5) : 1-48.
- 田中 章・桐谷圭治 (1987) 馬毛島で大発生したトノサマバッタ II. 大発生の終幕. *インセクタリウム*, 24 (11) : 330-337.
- 田中 寛 (1983) 日本のトノサマバッタ—密度の効果を調べる 1. *インセクタリウム*, 20 (4) : 88-92.
- 山下秋厚・金井賢一・山根正気 (2019) 鹿児島大学理学部の野外活動で収集された直翅類. *Satsuma*, (163) : 57-62.
- 安田慶次 (1986) 沖縄におけるセスジツチイナゴの島間の形態比較. 沖縄県農業試験場研究報告, (11) : 61-66.